

食道がん

周術期

FP(800/80 術後補助)

主な使用目的

術後補助

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
シスプラチン	80 mg/m ²	D1	点滴静注	240分間	28日間	
フルオロウラシル	800 mg/m ²	D1-5	点滴静注	24時間		

DCF

主な使用目的

術前補助

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ドセタキセル	70 mg/m ²	D1	点滴静注	60分間	21日間	
シスプラチン	70 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間		
フルオロウラシル	750 mg/m ²	D1-5	点滴静注	24時間		

FP(800/80 術前補助)

主な使用目的

術前補助

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
シスプラチン	80 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間	21日間	
フルオロウラシル	800 mg/m ²	D1-5	点滴静注	24時間		

進行再発

bDCF

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ドセタキセル	30 mg/m ²	D1,15	点滴静注	60分間	28日間	
シスプラチン	80 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間		
フルオロウラシル	800 mg/m ²	D1-5	点滴静注	24時間		

CDGP/DTX (q4w)

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ドセタキセル	60 mg/m ²	D1	点滴静注	60分間	28日間	
ネダプラチン	80 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間		

食道がん

CDGP/DTX (q2w)

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ドセタキセル	30 mg/m ²	D1	点滴静注	60分間	14日間	
ネダプラチン	40 mg/m ²	D1	点滴静注	90分間		

DTX

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ドセタキセル	70 mg/m ²	D1	点滴静注	60分間	21日間	

FP(700/70 放射線併用)

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
シスプラチン	70 mg/m ²	D1	点滴静注	240分間	28日間	
フルオロウラシル	700 mg/m ²	D1-4	点滴静注	24時間		

FP(700/70)

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
シスプラチン	70 mg/m ²	D1	点滴静注	240分間	21日間	
フルオロウラシル	700 mg/m ²	D1-5	点滴静注	24時間		

mFOLFOX6

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
レボホリナート	200 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間	14日間	CVポート レボホリナートとオキサリプラチンは同時投与 携帯型インフューザーポンプ使用
オキサリプラチン	85 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間		
フルオロウラシル	400 mg/m ²	D1	点滴静注	全開投与		
フルオロウラシル	2400 mg/m ²	D1	点滴静注	46時間		

weekly PTX

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
パクリタキセル	100 mg/m ²	D1,8,15,22,29,36	点滴静注	60分間	49日間	

食道がん

【①-⑥】ペムブロリズマブ+FP（800/80）

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ペムブロリズマブ	200 mg/body	D1	点滴静注	30分間	21日間	
フルオロウラシル	800 mg/m ²	D1-5	点滴静注	24時間		
シスプラチン	80 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間		

【⑦以降】ペムブロリズマブ+FP（800/80）

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ペムブロリズマブ	200 mg/body	D1	点滴静注	30分間	21日間	
フルオロウラシル	800 mg/m ²	D1-5	点滴静注	24時間		

ニボルマブ（q2w）

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ニボルマブ	240 mg/body	D1	点滴静注	30分間	14日間	

ニボルマブ（q4w）

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ニボルマブ	480 mg/body	D1	点滴静注	30分間	28日間	

ニボルマブ（q2w）+イピリムマブ

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ニボルマブ	240 mg/body	D1,15,29	点滴静注	30分間	42日間	
イピリムマブ	1 mg/kg	D1	点滴静注	30分間		

mFOLFOX6+RT（放射線療法）

主な使用目的

進行再発

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
レボホリナート	200 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間	14日間	持続投与フルオロウラシルの用量が通常のmFOLFOX6と異なる レボホリナートとオキサリプラチンは同時投与 CVポート 携帯型インフューザーポンプ使用
オキサリプラチン	85 mg/m ²	D1	点滴静注	120分間		
フルオロウラシル	400 mg/m ²	D1	点滴静注	全開投与		
フルオロウラシル	1600 mg/m ²	D1	点滴静注	46時間		

【術後】ニボルマブ（q4w）

主な使用目的

術後補助

使用薬剤	投与量	投与日	投与経路	投与時間	1コース	備考
ニボルマブ	480 mg/body	D1	点滴静注	30分間	28日間	最長12ヶ月間